

Web 版付録 5 データの読み込みと呼び出し

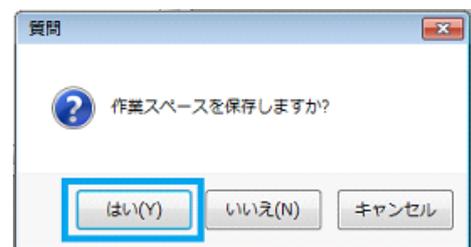
5-3 保存したデータの呼び出し

<各 OS 共通>

【初版からの変更点】R コマンダーの新しいウィンドウ表示にあわせて、図を差し替えました。

【注意】Web 版付録 5-1 と 5-2 は、別のリンクにあります。

例えば、Web 版付録 5-1 で R コマンダーに取り込んだ Catfood01 のデータで分析を行い、R コマンダーを終了するとします。Web 版付録 3 で説明したように、R コマンダーを終了するときに表示される右の図のウィンドウでは、必ず「はい」を選んで終了します。すると、Catfood01 のデータが R コマンダー内に保存されます。そして、R コマンダーを後日再起動して同じデータの分析を再開しようとするときに、以下のような簡単な手順でデータを呼び出すことができます。



保存したデータの呼び出し (R コマンダーを再起動した場合)

Web 版付録 5-1 で取り上げた Catfood01 のデータを R コマンダーに一度取り込んで作業を終了し、後日 R コマンダーを再び起動して Catfood01 のデータを利用することを前提にして説明します。

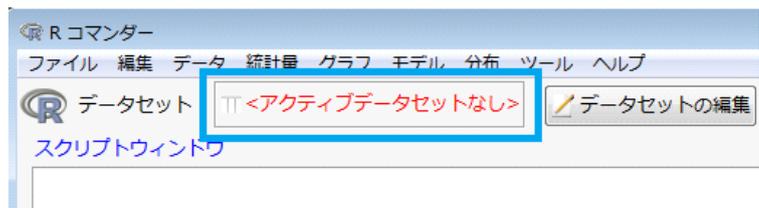
1. 操作説明図 E-301 は、R コマンダーを起動した直後の状態です。R コマンダーのウィンドウの左上にある「データセット:」の表示は、赤で

<アクティブデータセットなし>

となっているはずですが、

この赤色表示の上をクリックすると、操作説明図 E-302 の「データセットの選択」のウィンドウが開きます。

操作説明図 E-301



操作説明図 E-302



2. **データセット (1つ選択)** の選択肢で、すでに入っている Catfood01 を探してクリックして反転表示させ、**OK** をクリックします。R コマンダーのウィンドウに戻ります。

操作説明図 E-303

3. 操作説明図 E-303 のように、R コマンダーのウィンドウの「データセット:」の表示が **Catfood01** になれば呼び出し完了。



保存したデータの呼び出し方法は、R コマンダーの起動中に分析対象のデータを差し替える場合にも使えます。

保存したデータの呼び出し (データを差し替える場合)

Web 版付録 5-1 で取り上げた Catfood01 と Web 版付録 5-2 で取り上げた airquality がいずれも R コマンダーに取り込まれているとします。そして、これまで Catfood01 のデータを分析していたとして、これを airquality のデータに差し替える場合を例にして説明します。

操作説明図 E-304

1. 操作説明図 E-304 は、Catfood01 のデータを分析している場合の R コマンダーのウィンドウ上部です。「データセット:」の表示は、青で

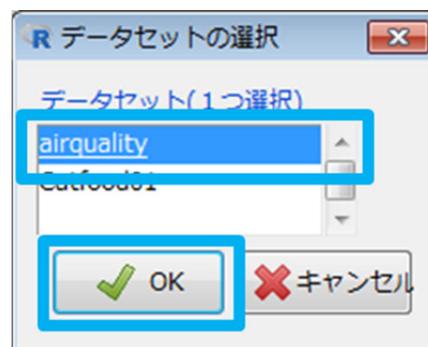
Catfood01

となっています。

この青色表示の上をクリックすると、操作説明図 E-305 の「データセットの選択」のウィンドウが開きます。



操作説明図 E-305



2. **データセット (1つ選択)** の選択肢で、すでに入っている airquality を探してクリックして反転表示させ、**OK** をクリックします。R コマンダーのウィンドウに戻ります。

操作説明図 E-306

- 操作説明図 E-306 のように、R コマンドーのウィンドウの「データセット:」の表示が `airquality` になれば差し替え完了。

